科目名称	小児看護学方法論Ⅱ（健康障害に応じた看護）	学年学期	単位数	時間数
		2 学年後期	1	30
担当教員	井ノ上 眞由美・矢野薫・藤原優子・山野内香・越智みゆき	授業に関わる実務経験	■ 有 （ 看護師 ） □ 無	

【1】 授業概要

これまでに学んだ小児の健康障害や小児看護の知識を活用し、事例を用いて看護過程の展開を行うことで、健康障害をもつ小児と家族への個別性のある看護についての理解を深める。

【2】 学習目標

1. 健康障害が小児や家族に及ぼす影響を考え、それぞれの健康レベルや発達段階に応じた看護を説明できる。
2. 健康障害をもつ小児の治療・処置に伴う援助を具体的に計画できる。
3. 健康障害をもつ小児と家族に対する看護過程の展開ができる。（紙上事例）

【3】 第 2 看護学科ディプロマポリシーとの関連性

□ 1. 生活者としての人間を統合された存在として多角的に捉えることができる。
■ 2. 人間の生命、人間としての尊厳および権利を尊重した判断および行動をすることができる。
■ 3. 人々の多様な価値観を認識して、専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた看護実践をすることができる。
■ 4. 看護の対象となる人々の健康状態を判断し、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
■ 5. 保健・医療・福祉チームの一員として多職種の連携・協働を図り調整的役割を果たすことができる。
□ 6. 松山市および愛媛県周辺の地域医療への理解を深め、地域の人々の生活を尊重・支援することができる。
■ 7. 自己の資質向上のため、看護に対する探究心・向上心をもち、主体的に学び続けることができる。

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態	教員
1	急性期にある小児と家族の看護	講義	山野内 香
2	小児病棟の環境　慢性期にある小児と家族の看護	講義	井ノ上 眞由美
3	周手術期にある小児と家族の看護	講義	藤原 優子
4	ＮＩＣＵ看護	講義	越智　美由紀
5	小児がんの小児と家族の看護　痛みのある小児と家族の看護 免疫疾患の患児の看護	講義	井ノ上眞由美
6	児童虐待と看護　終末期の小児と家族の看護	講義	藤原 優子
7	隔離・活動制限が必要な小児と家族の看護	講義	井ノ上眞由美
8	身体障害・発達障害　心の問題・先天性疾患 事故・外傷の小児と家族の看護	講義	
9	看護過程(1)	講義・演習	
10	看護過程(2)	演習	
11	看護過程(3)	演習	
12	重症心身障害児の療育支援	講義・演習	矢野 薫
13	看護過程(4)	演習	井ノ上眞由美
14	看護過程(5)	演習	
15	筆記試験・まとめ		

【5】 評価方法

筆記試験（60%）、態度や提出物（40%）で総合的に評価する。

【6】 教科書

奈良間美保:系統看護学講座 専門分野 小児看護学(1) 小児看護学概論 小児臨床看護総論(第 15 版) 医学書院 2026 (電子版)
奈良間美保:系統看護学講座 専門分野 小児看護学(2) 小児臨床看護各論(第 15 版) 医学書院 2026 (電子版)
北川雄光・江川幸二:系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論(第 10 版) 医学書院 2026（電子版）

【7】 参考書

浅野みどり：根拠と事故防止からみた 小児看護技術 第 2 版　2016 年

【8】受講生へのメッセージ

子どもの疾患に特有な看護をより具体的に、より実践的に学習していきます。また、虐待や不登校といった問題についても学習していきましょう。